

サプライチェーン強化に向けた セキュリティ対策評価制度★4の 準備はできていますか？

「御社のセキュリティ対策を教えてください」

—— その一言に、今すぐ答えられますか？



セキュリティ対策評価制度とは

2025年12月現在

経産省が定める「企業のセキュリティ対策を評価し可視化する」制度です。

特に、サイバー攻撃の脅威が高まる中で、企業間の取引において適切なセキュリティ対策向上求められるようになっていきます。2026年度末施行予定です。

■評価方法

“全ての企業に対して”セキュリティの取り組み状況を「★3-5」で判断し“公表”させ可視化されます

	SECURITY ACTION		サプライチェーン対策評価制度		
	★1	★2	★3	★4	★5
概要	情報セキュリティ5か条の宣言	「自社診断+基本方針」の宣言	サプライチェーン企業が最低限実装すべき対策	サプライチェーン企業が標準的に目指す対策	サプライチェーン企業が到達点として目指すべき対策
評価	自己宣言	自己評価	専門家確認付き自己評価	第三者評価	未定
項目	—	—	25項目	44項目	未定

「★4」の取得が求められる可能性



参考：経済産業省「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に関する制度構築方針（案を公表しました（2025/12/26）

<https://www.meti.go.jp/press/2025/12/20251226001/20251226001.html>

今のうちに★4に準拠するセキュリティ対策を備えておくことが重要です！



データの保存(保管)も「★4」を意識したセキュリティ対策を！

ソリューション	ガイドライン該当項目	対応機種
 Linux OS搭載 法人向けNAS	35項★4) 情報機器、情報システムに関するログを取得し、異常を検知するため、定期的にレビューを行う事 20項★4) システムや情報の重要度に応じて認証の強度や実装方法を決定すること 21項★4) 社内システムを構築する端末にアカウントロック制御を実装すること 34項★4) サポートの切れたハード、ソフトの利用停止や更新を実装すること	法人向けNAS「HDL-XABシリーズ」 ◎標準のアクセスログ機能でログの保存・確認が可能 ※標準追加機能「ログ拡張パッケージ」でログの長期保存も可能 ◎NASのアクセス権限設定機能を使った認証を行う事が可能 ◎管理者画面に関してアカウントロック制御実装済み ◎オリジナルOSのためメーカーがサポートいたします
 NAS用 ウイルス対策	37項★4) システムをマルウェアから保護すること	ウイルス対策「IO NAS Security」 ◎Trellix社のウイルス対策エンジンを搭載 ◎NAS用のウイルス対策 データ保管時のリスクに備える事が可能
 バックアップ 外付けHDD	32項★4) 適切なバックアップを行う事	法人向け外付けHDD「BizDAS」 ◎データの重要性に合わせて取得対象、頻度を定められる

✓ ランサムウェアからデータを守る

① オフラインバックアップでデータを守る

ランサムウェアにより、バックアップデータまで暗号化されることを防ぐため、外付け HDD をネットワークからアクセスできないよう(論理的なオフライン)設定が可能です。

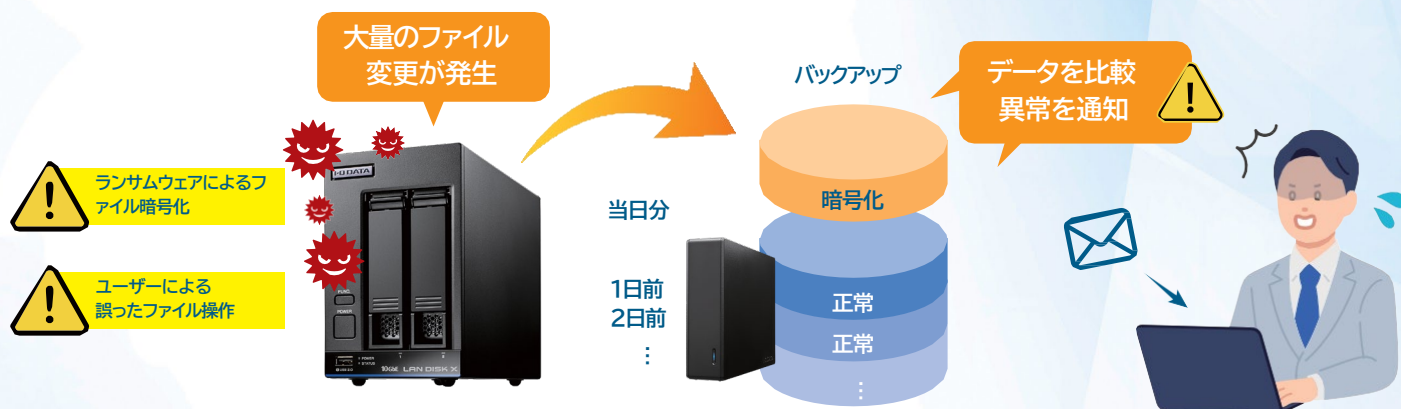


バックアップデータまで暗号化されないことが重要です



② 不正ファイル操作検知機能により、異常を判断

ランサムウェアによるファイルの暗号化が検知できるため、早めに状況把握ができる事で、万一NASのデータも感染し、暗号化された場合でも外付けHDDより早期にデータの復元することが可能です。



✓ セキュリティ対策評価制度 ★4 おすすめのNASセット



IODATA
セキュリティNAS
HDL2-XA4B

データ復旧サービス(最大 150 万円相当標準添付で 安心して使用いただけます。



IODATA
NAS専用ウイルス対策
LDOP-LS/TL5

NASのデータをウイルスのより守る「IO NAS Security」5年ライセンスモデル



IODATA
訪問安心保守
ISS-NHI-PR5

NASの故障の際には、現地訪問にて機器の障害対応を行います。(対応期間:5年間)



IODATA
バックアップ用HDD
HDJA-UTN4B

社内でのローカルバックアップで使用
ヒューマンエラー/ランサム対策に有効
5年保証モデル



OMRON
UPS(無停電電源装置)
BW40TG5

停電時の電源瞬断よりNASの故障を防ぐために必要です。
5年保証モデル

データの保存先もセキュリティ対策可能な構成で正しい運用を行うことで
サプライチェーンの一員として取引先からの信頼向上につながることも期待されます。